

「首都東京と福山・沼隈，そして自分と対話しよう～気づく つなぐ 広げる～」

本単元で育成する資質・能力

つながる知識 思考力・判断力・表現力 主体性 深める力 共感力

単元について

○ 生徒観

本学年の生徒は、1年生7月の「労働体験学習」において、沼隈が誇る「ぶどう」について2日間の農場での袋掛け体験を行った。労働の大変さを実感しながらも、手間暇かけて作り上げた「ぶどう」だからこそ沼隈の誇りの一つになっていることを、身を持って感じ取ることができている。また、地元の造船関係等で多くの外国人労働者がいることや、かつて沼隈から約450名がパラグアイへ移民したこと、それを支えた地元の造船・海運業のことを学び、国際化社会について身近に感じることでもできるようになってきた。

2年生8月の「チャレンジウイークふくやま」（職場体験）では、社会で通用する礼儀・マナーを身に付ける必要性、時と場に応じて考え・判断し・行動して、その結果に責任を持つことの重要性、働くことの大変さやその意義深さなどを実感してきている。勤労観・職業観を自ら形成していくために、自己理解に努め、今後の自分の将来設計やふるさと福山・沼隈とのつながりを見据えて自らのキャリア発達へ前向きな意欲を見せ始めている。

2年生の2学期末から3学期初めにかけて、本校生徒は大きな転換期となる。部活動の中心はずでに2年生へ移行されており、生徒会役員も11月選挙を経て1月に2年生中心の生徒会活動体制となる。学校のリーダー及び校区のリーダーとしての自覚を高め、自らの姿が模範となることを目指し始めている。日常の学校生活、生徒会活動、体育祭や文化祭等の行事などでリーダー学年の3年生の姿を見て、憧れを持ち続けてきており、自分たちが引継ぎ、さらに素晴らしいものへと向上させていきたいと大きな意欲を持っている。

「基礎・基本」定着状況調査の「生徒質問紙」より、肯定的回答の割合を見ると、「学校へ行くのは楽しい」（95.6%）をはじめ、ほとんどの項目で県平均以上となっている。前年度比較でもほとんどの項目が伸びている。しかし、課題発見・解決学習に関する項目については、70%以下のものが多いことは課題である。

「課題の設定」に関する項目は、83.8%、88.2%であり、昨年度から大きく向上している。「課題発見・解決学習」の第一段階を教職員が意識しようとしてきたことと生徒が本校の資質・能力の中心の「主体性」を意識して授業に臨むようになってきた成果として捉える。

一方、「情報の収集」（42.7%、57.4%）、「整理・分析」（54.4%、73.5%）、「まとめ、創造・表現」（61.8%、69.1%）で、昨年度との比較で大きく向上しているものの、まだまだ課題である。本校の資質・能力の「思考力・判断力・表現力」、「深める力」に結びつくこれらの項目について、本単元で重要視していきたい。

「実行」（72.1%）、「振り返り」（79.4%、69.2%）においては、県平均と比較すると肯定的回答がかなり高い。

広島県「基礎・基本」定着状況調査「生徒質問紙」より 肯定的回答の割合		H28 県平均	H28 本校	H29 県平均	H29 本校
全般	学校へ行くのは楽しいです。	87.2	92.8	87.2	95.6
課題発見・ 解決学習	課題の設定				
	授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう?」「やってみたい」と思います。	65.5	76.8	68.4	83.8
	授業では、解決しようとする課題について、「多分こうではないか」「こうすればできるのではないか」と予想しています。	71.8	78.3	74.3	88.2
	情報の収集				
	授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり、取材をしたりしています。	38.3	30.4	39.9	42.7
	授業では、課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。	46.4	33.3	48.0	57.4
整理分析					
授業では、調べたこと等を、図、グラフ、表などにまとめています。	49.1	43.5	53.1	54.4	
授業では、情報を比べたり(比較)、仲間わけしたり(分類)、関係を見付けたり(関係付け)して、何が分かるのかを考えています。	63.2	52.1	66.0	73.5	
まとめ 創造・表現					
授業では、自分の考えを積極的に伝えていきます。	56.3	44.9	58.2	61.8	
授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝わるように工夫しています。	56.6	49.2	59.4	69.1	

実行	授業では、考えたり提案したりしたことについて、実際に取り組んでいます。	63.3	62.3	66.2	72.1
振り返り	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか」「学習の方法で上手くいったことや失敗したこと等の理由」を考えています。	63.0	66.6	66.1	79.4
	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」等を考えています。	55.4	56.5	59.0	69.2
その他	普段の生活や学習の中で、これまでに学習した内容や学習のすすめ方を使っています。	71.3	57.9	72.4	79.4
	授業では、友だちと話し合う等して、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	74.5	72.4	77.5	80.9
総合	授業では、実際にものを使ってやってみたり、地域や自然の中で学習したり等の体験活動をしています。	54.2	47.8	56.3	66.2
	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する等の学習活動に取り組んでいます。	64.5	73.9	67.5	79.5

…70%以下の肯定的回答

…県平均以上

○ 単元観

【総合的な学習の時間の目標】（現行）

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

【総合的な学習の時間の目標】（新）

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

（平成 29 年 3 月文部科学省公示 中学校学習指導要領 第 4 章総合的な学習の時間 より）

本単元は、平成 29 年 3 月に公示された新学習指導要領の総合的な学習の時間の目標に示された内容を意識して次のような「ねらい」を持って、単元目標を設定した。

- (1) 学習対象を自己・自校・地域から日本・世界・将来を加え、より広い視野へ切り替えを図り、本校設定の資質・能力を育成する。
- (2) 福山・沼隈と首都東京を比較し、分類、関連づけながら、ふるさと福山・沼隈の魅力の再発見と課題の見いだしを行い、探究的な学習を展開する。
- (3) 日本及び国際社会の中で持続可能な発展を見据えた社会への参画意識へとつなげていける態度を養う。

(1) については、小学校段階での地域と密接に結び付いた体験学習、探究的な学習を踏まえ、1 年生時の「ぶどう体験」や 2 年生時の「職場体験」を中心とした事前の調べ学習、事後の振り返りとまとめ及びその発信などを通じて身に付けた知識及び技能、探究的な学習のよさの実感を発展させる。そのために、より広い視野への切り替えを図り、今後の自己の生き方をより深く考えていくために本校が設定した資質・能力をレベル 2 へ、さらには、レベル 3 へと高める。

(2) については、修学旅行を探究的な学習の過程に位置付け、修学旅行を情報収集の場とし、さらなる課題設定の場とする。また、行先である「日本の首都・東京」と今まで学んできた「福山・沼隈」とを比較し、分類し、関連付ける等の思考するための技法を活用する。改めてふるさと沼隈のよさを実感するとともに課題点を見い出す。日本全体や国際社会にも視野を広げる等して、自ら問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現できるようにする。

(3) については、入学当初の SAF（良好な人間関係づくりを促進するプログラム）体験、体育祭や文化祭等の行事を通じた学び、日常の授業等を通じて仲間と協働し主体的に活動することのよさ、素晴らしさを実感し、互いの違いを認め合いながら所属する集団への積極的な参画意識を高めてきた。ここまで意識させてきたことは、所属する集団は、校内及び地域で捉えたものである。それを発展させ、日本及び国際社会のなかで持続可能な発展を見据えた参画意識へとつなげていける態度を養う。

上記 (1) ～ (3) の「ねらい」を達成していくために、各グループで「テーマ」を決めさせ、

この単元の学習を進めていく。福山・沼隈と首都東京を各グループが設定した視点に沿って、「問い」を見だし、情報収集・整理・分析及び現地での体験等を通じて探究的に学びを深めていき、今後の社会参画にからめた「課題の見だし」を行う。見だした課題に対する自分の思いやグループで協議した内容をまとめ交流する。さらには、東京と福山・沼隈を比較することで、これからの沼隈にどのようにつなげていくのか考えさせたい。例えば、東京と沼隈の環境を比較し、環境の違いから人々の生活の違いを見出し、今後のふるさと沼隈の暮らしや発展につなげていくことを考えさせたい。また、今後の中学校生活、地域の一員としての在り方、自己の生き方へつなげて考えさせる単元としていく。

単元全体を貫く「課題発見・解決学習」としては、「課題の発見・課題の見だし」を重要視する。内容の性質上、課題として見いだす内容には、社会的な課題が多く出る事が予想され、生徒の力で解決していくことは極めて困難である。課題を見いだすことの大切さとその解決に向けて自らの生き方と結びつけて考えることの重要性を実感させることを目指していきたい。まとめ・表現した成果物については、校内の発信のみにとどまらず、内容によって沼隈や福山市全体等へ発信することを考えさせたい。

本校の設定する資質・能力の中では、「地域・社会さらには自己の将来へ結びつく【つながる知識】」と「自ら課題を発見してよりよく解決しようとする事、とともに、時と場を踏まえ目的に応じて判断し行動する【主体性】」を重点とする。グループ活動の中で【共感力】を活かし、【思考力・判断力・表現力】【深める力】とはクリティカル・シンキングをキーワードとしてつなげていきたい。

○指導観

指導にあたっては、各グループで修学旅行実施に向けたテーマを設定させる。その視点としては、「大好き！福山～ふるさと学習～」の「Ⅰ 自然・環境」「Ⅱ 産業」「Ⅲ 歴史・伝統文化」「Ⅳ 先人」「Ⅴ 今・未来」「Ⅵ 自分の将来」を総合的に意識させる。その中から、さらに絞った視点を3点程度持たせて、探究的な学習を行わせていきたい。生徒にとって視点を焦点化するには、どのように絞るべきかが分かりにくいことが予想される。そこで、この単元の導入時の課題設定に当たって次のような例のものが挙がってくるよう指導していきたい。

【例1】「Ⅰ 自然・環境」の視点から、環境汚染及び環境美化の取組として「隅田川と山南川は、どちらがきれい？」等の問いを自ら設定し、仮説を立て、情報を収集・整理・分析し仮説の見直しを行い、修学旅行で実際に目にする事等で確認し、まとめ・表現していくことで地域へ発信したり、自分の今後の生き方について考えていったりすることへとつなげていく。

【例2】「Ⅴ 今・未来」の視点から、「暮らしやすさ」をテーマに福山・沼隈と東京を比較する。「交通の利便性では、圧倒的に東京という既成概念を覆すことはできないか？」等の問いを設定し、公共交通機関の発達と交通混雑度、学校や病院などの公共施設・福祉施設・商業施設等へのアクセス、通勤時間など、さらには自然環境等とも絡めて良さと課題点を探究的な学習と現地学習を通じて発見、整理し、沼隈に取り入れるべき東京のよさや東京に取り入れるべき沼隈のよさをまとめ・表現していく。

【例3】「Ⅲ 歴史・伝統文化」及び「Ⅳ 先人」から、平家物語等とつながる「千年藤」のある沼隈の歴史と比較すると日本の歴史に登場するのが新しい「江戸・東京」であることについて詳しく情報収集・整理・分析するとともに「福山・沼隈と東京は、歴史上どのように関連してきたのか？ほとんど関係していないのか？」の問いを持つ。福山藩主阿部正弘の筆頭老中以外にはどのような人物が絡んでいるか？沼隈の先人山本瀧之助の「一日一善」等が東京にも影響しているか？等について探究的に調べ、現地確認をしたのち、まとめ・表現していく。

各グループは、テーマを設定し視点を絞っていき、その中に「問い」を明確にさせる。それに対する第1段階の仮説を立てさせる。仮説検証のための情報収集・整理・分析を行い第2仮説へと進歩させる。このことを修学旅行まで繰り返し、最終仮説を持って修学旅行当日を迎えさせ、現地学習で確認させていきたい。生徒には、例を参考にしながらも、自由に視点を設定させ、各グループが異なるテーマ、異なる視点でより多くの問い、課題発見、気づきがあるように仕組んでいきたい。まとめの交流等によって互いの気づきをつながって捉えることができ、広がりを持たせていけるようにしていきたい。また、「つながる知識」のレベル3「身に付けた知識を地域・社会と結び付け、さらには自分の将来へいかに生かすべきか捉えている」の視点で、今後の自己の生き方に結び付けて決意表明を単元の最終段階でさせていきたい。

単元の目標

- (1) 学習対象を自己・自校・地域から日本・世界・将来を加え、より広い視野へ切り替えを図り、本校設定の資質・能力を育成する。
- (2) 福山・沼隈と首都東京を比較し、分類、関連づけながら、良さの発見と課題の見だしを行い、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現できるようにする。
- (3) 日本及び国際社会の中で持続可能な発展を見据えた参画意識へとつなげていける態度を養う。

単元として育てたい資質・能力における評価規準

本校の育てようとする資質・能力の内容			単元として育てたい資質・能力を身につけた子どもの姿
知識	つながる知識	知 「既習事項」とのつながりのある知識 「他教科・領域」とのつながりのある知識 「地域・社会」「将来への活用」とのつながりのある知識	①既習事項の福山・沼隈に関する知識と首都東京に関する情報を比較し、関連付けて、使える知識として整理して身に付けている。 ②新しく得た情報を自らの生き方に結び付けて、自己の将来に活用できる見通しを持って知識を身に付けている。
スキル	思考力 判断力 表現力	表 課題を正しく受け止め、目的に応じて考え、根拠を基に判断する力 思考・判断に至った過程を振り返り、クリティカルに考える力 自分の考えを相手に納得できるよう、分かりやすく表現する力	①比較・分類・関連付けの思考のための技法を使い、情報収集・整理・分析できる。 ②見いだした課題について熟考し、根拠を明確にして判断できる。 ③自分が導き出した考えを、クリティカルに吟味し、相手に分かりやすく表現できる。
意欲・態度	主体性	主 自ら課題を発見し、よりよく解決しようとする 時と場を踏まえ、目的に応じて自ら判断し、行動しようとする	①自ら課題を発見し、見通しを持って主体的に行動し、その結果に自信を持つことができる。 ②地域・日本・国際社会の一員としての自覚を持ち、持続可能な発展を見据えた参画意識を持って、課題解決に向けて取り組むことができる。
価値観・倫理観	深める力	深 「 佇む 」(たたずむ)こと、「 はっと気づく 」こと 広い視野と細かな配慮を持って物事を捉える力 表面に見えていないものを感じ取り、深く思考を働かせる力 創造的な思考を働かせ、新たな価値を発見・創造しようとする力	①他者意見等により自分の考えを見直し、修正し、見通しを持って、新たな価値の発見・創造に向かうことができる。 ②思いやり・優しさ・助け合いの心を持って、自らグループ活動・学級活動に参画し、協働し、高まり合うことができる。
	共感力	共 こだまし 、 うなづく こと 他者意見を真摯に聴き、受け止め、相手目線で考える 関わり合いの中で、「思いやり・優しさ・助け合いの心」を持って行動する 仲間と協働し、ともに高まろうとする	

単元の終末におけるパフォーマンス評価

パフォーマンス課題	評価基準
<p>【グループ課題】 福山・沼隈と首都東京とどのような「テーマ」「視点」で対話してきたか、その設定理由も明らかにし、その中で見いだした「問い」に対する「解答仮説」を導き出した根拠を明確にしてグループのまとめを作成する。 クリティカルな吟味、検証を経て、仮説が覆された部分があれば、その理由も加えて紹介する。 さらには、下記の発信相手の中から最もふさわしいと考えられる相手に対して、今後に向けての提言を盛り込んだ発信をしよう。 発信相手 ①校内 ②沼隈 ③福山 ④日本 ⑤世界 ⑥未来</p> <p>【個人課題】 福山・沼隈と首都東京との対話学習を通じて、持続可能な社会の発展に参画する意識を持って、今後の自分の生き方について決意表明をしよう。</p>	<p>A</p> <p>◎見いだした課題の解決に向けて、主体的に行動し、他者との対話等によってクリティカルに思考し、より良い今後の方向性を見だし・創造へと向かおうとしている。</p> <p>◎集めた情報を整理・分析し、新たに得た知識等を地元に活かすことや今後の日本・国際社会に活かすこと、さらには自らの将来へ活用する展望を持っている。</p>
	<p>B</p> <p>○既習事項の福山・沼隈及び教科等で身に付けた知識・スキルと関連づけ、活用して知識を身に付けている。</p> <p>○福山・沼隈と首都東京を比較・分類・関連付けする中で課題を自ら見だし、解決に向けて仲間と協働して活動しようとしている。</p>
	<p>C</p> <p>△集めた情報を整理し、まとめている。</p> <p>△今後に向けて情報発信、今後の自分の決意表明をしているが、その根拠が不明確である。</p>

【グループによる発信（例）】

【発信のための原稿（例）】

発信先	[]の皆さんへ	福山市立千年中学校 2年〇組〇班		
テーマ	「沼隈と東京の環境」	調べてみたこと		
視点①	水質	場所別水質	年代別水質	実際に観察
視点②	緑・空気	緑化地域割合	場所別空気汚染度	年代別空気汚染度
視点③	暮らしやすさ	交通網の発達	通勤・通学時間	お店、福祉等
問い①	「山南川と隅田川どっちがきれい？」	実際に調べていく中で「予想仮説」～「第〇仮説」までの変遷について、その根拠を明確にして、書き表す。修学旅行に実際行く前の「最終仮説」を明らかにする。		
問い②	「沼隈の方が東京23区より緑が多い？」			
問い③	「交通の便利が良いのは本当に東京？」			
「最終仮説」に至った根拠となるデータ等を表やグラフなどを使って示す。				
現地調査での気づき	修学旅行で実際に観たり、体験したり、調査したりした「気づき」新たな疑問やつながりのある別の視点での「気づき」等			
提言①	持続可能な社会を築いていくために 自分達の将来に結び付けての思い 等			
提言②				



私の決意表明（将来に向けて）

「沼隈・福山と首都東京、そして自分と対話して気づいたことから」

【壁新聞（例）】

隅田川と山南川、どっちがきれいだと思いますか？

シジミの取れる
山南川を取り戻そう

昔はどちらの川もシジミが取れた！

千代田区の方が沼隈より緑化が進んでいる？

山が多い沼隈……… ビルばかり多くある東京のイメージだけれど、以外にも…

交通の便利さは圧倒的に東京が便利！？

交通網の発達は確かに東京がすごい！！
千代田区の昼の人口と夜の人口は………
混雑の電車で平均〇〇時間かけて通勤………
………意外と、沼隈・福山は便利………でも、…

提言

指導と評価の計画

時	学習過程	学習内容	評 価					
			知識	スキル	意欲・態度	価値観・倫理観	◆単元として育てたい資質・能力における評価規準 【資質・能力】	各教科等との関連
1	課題設定	<p style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; text-align: center;">首都東京と対話する「話題」を決めよう。</p> <p>◇グループの「テーマ」を決定 視点を3点に絞る。 ・例を参考にする。 ・テーマと視点を決める順序はどちらが先でもよい。 ・各グループのテーマができるだけ重ならないよう配慮する。 ◇テーマ又は視点到に沿って「問い」を設定する。 ・「問い」に対する第一次「仮説」を立てる。</p>			○		<p>[意欲・態度—①] 課題発見…「問い」の見いだし見通し…「問い」に対する「仮説」の設定 主体的…興味・関心を持って自ら進んでグループ活動に参加 結果に自信…仮説に根拠を持つ（行動観察、ワークシート）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会（地理） 「身近な地域の調査」（2年） ・理科 「人間と環境」（3年） 「科学技術の利用と環境保全」（3年） ・家庭科 「調理と食文化」（1年）
<p>自ら取り組みたい「テーマ」「視点」に沿った「問い」を見いだし、自ら[課題発見]することによって、この単元の学びに主体的に取り組もうとする意欲を高める。</p>								
2 3 4 5 6 (本時)	情報の収集→整理・分析→課題の再編→情報の収集→整理・分析→新たな課題	<p style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">福山・沼隈と首都東京を比較するための情報を集め、整理・分析し、「仮説」が正しいかどうか確かめよう。</p> <p>◇「仮説」を検証するための根拠となる情報を収集し、整理・分析する。 ①インターネットや資料等から「テーマ」「視点」に関する情報を収集する。 ・東京と福山・沼隈の両方の情報を収集する。 ②集めた情報をグラフや表などを使って整理・分析する。 ・比較、分類、違いの見いだし等の思考技法を使う。 ・立てた第一次「仮説」の検証 ③「仮説」の検証により、修正が必要な場合は、根拠を明確にして第二次「仮説」を立て、より詳しく調べることや違う視点から検証してみることをグループで検討する。 ④第二次「仮説」の検証のために、新たな情報を収集する。 ⑤新たに集めた情報の整理・分析を行い、第二次「仮説」の検証を行う。 ※①～⑤の流れを繰り返しながら、より深く学ぶ探究的な学びを推進していく。 ※第〇次「仮説」と進むほど、より深く学べることとなり、それが探究的な学びのよさであることを実感させる。 ※①～⑤の流れの中で、設定した「視点」をより焦点化する視点への変更や、関連する別の視点で新たに情報収集、整理・分析のルーティンに入っていくことも推奨する。 ※場合によっては「テーマ」等の変更も有り得る。 ◇インターネット、資料等では検証しきれないことや深めて得た「最終仮説」の検証のために、修学旅行2日目の自主研修の行動計画を立てる。 ・行動計画に「視点」と「仮説」を入れ、どのように検証するかを明確に示す。</p>	○		○	<p>第一次「仮説」は、根拠不明確な「予想」である。「本当にそうなのか?」「ちょっと待て…」とクリティカル・シンキングを繰り返し、より深く根拠を求めていく探究的な学びへと導く。</p> <p>[スキル—①] [スキル—②] [スキル—③] 表現…表やグラフ等で分かりやすく整理・分析している。 (行動観察、ワークシート)</p> <p style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">明確な根拠を得るためにどのような情報が必要か考えさせ、インターネットや資料等を使って情報収集する。それを整理・分析していく際には、比較・分類・違いの見いだし等の思考技法を用いるとともに、アウトプットする際に相手に分かりやすく説明できるように表やグラフ等にまとめることによってデータの活用力育成も図る。「最終仮説」がより真実に近い「根拠が明確な説明」となることを目指させる。</p> <p>[価値観・倫理観—①] [価値観・倫理観—②] (行動観察)</p> <p>[価値観・倫理観—①] [価値観・倫理観—②] (行動観察)</p> <p>[知識—①] (行動観察、ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会（地理） 「身近な地域の調査」（2年） ・理科 「人間と環境」（3年） 「科学技術の利用と環境保全」（3年） ・数学 「資料の活用」（1年） 「一次関数」（2年） ・家庭科 「調理と食文化」（1年） 	
<p>情報分析している段階で、他の関連する事項への探究心が湧いてくるように補助発問等を工夫する。一つの視点から関連視点へとつながり、物事を多面的・多角的に捉える事が今後の将来へ向けて新しい価値の創造にもつながることを実感させる。</p>								

12月7日（水）～9日（土）の修学旅行において、現地での学びを経る。

時	学習過程	学習内容	評 価					
			知識	スキル	意欲・態度	価値観・倫理観	◆単元として育てたい資質・能力における評価規準 【資質・能力】	
7	整理・分析	<p>◇「最終仮説」の検証を東京での実際を目にしたことを通じて、整理・分析する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「最終仮説」までの流れの整理とともに、仮説の変遷の理由をそれぞれの時点の根拠を明確にする。 ・実際に目にしたこと、体験したことを通じて「最終仮説」が覆った部分があれば、その根拠を明らかにして整理する。 ・東京の現地学習以降、沼隈の地で生活して、改めて気づいたこと等を整理する。 ・これらのことをグループ内で協議するとともに、他のグループが探究していた内容ともつなげて分析度を深める。 <p>◇テーマ、視点を整理し直し、まとめをどのようにしていくか検討・協議し、決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめの発信相手を意識してまとめのレイアウトや結論とそこに至った経緯と根拠をどのようにすれば分かりやすく、印象深くなるか考え、検討する。 		○		○	<p>「最終仮説」を「根拠が明確な分かりやすい説明」へ変えよう。</p> <p>[スキル③] (ワークシート, 表現内容)</p> <p>[価値観・倫理観②] (行動観察)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会（公民） 「よりよい社会を目指して」（3年） 理科 「科学技術の利用と環境保全」（3年） ・数学 「資料の活用」（1年） ・家庭科 「環境に配慮した消費」（2年）
<p>相手意識があること、根拠が分かりやすく明確であることが説得力のあるものであること、まとめのレイアウトは見る人にインパクトのあるものにする…等の今までの学びで得た「つながった知識」をアウトプットして「使える知識」に変える。</p>								
8	まとめ・表現	<p>◇「まとめ」を前時の計画に従って、模造紙に表現していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班のテーマ、視点、問い、仮説の変遷経過とその根拠、現地学習での気づきを盛り込む。 ・次時に学年内で発表交流会をするが、あくまで自分のグループの発信相手を意識したものとして仕上げていく。 ・HP等での発信を意識して、電子データで作成してもよい。 <p>◇発信相手に対する提言を明らかにして「まとめ」に入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの将来を意識した視点、自分も持続可能な発展のための一員である意識を持った提言が望ましい。 			○		<p>「根拠が明確な分かりやすい説明」の発信相手を決め、提言を入れよう。</p> <p>[意欲・態度②] (行動観察, ワークシート) (模造紙表現内容)</p>	
<p>気づいた良さや課題、発見又は創造した新しい価値について、アウトプット対象となる発信相手を考えさせることによって、この学びを通じて自分の視野が広がってきたことを実感させる。課題解決に至らずとも提言により、将来展望へとつなげていく。</p>								
9	【グループ・フォーメーション課題】 実行	<p>◇各グループが作成した「まとめ」を学年全体又は学級内で交流。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発信相手、テーマ、視点、問い、仮説の変遷とその根拠、現地学習の気づきは明確に説明する。 ・提言内容を紹介し、なぜこのような提言にしたのか説明する。 ・他のグループの発表を聞き、自分たちのグループとの関連を考え、「メッセージカード」に気づきを記入し、その班に渡す。 				○	<p>学年内で発信練習をするるとともに他のグループのプレゼンを受け止めて自分たちの考え方とつなげ、さらに探究内容を深め、広げよう。</p> <p>[価値観・倫理観①] (行動観察, ワークシート)</p>	
<p>プレゼン経験をさせ、他のプレゼンを聴くことにより自分の視野をさらに広げることができることを実感させる。</p>								
10	【個人・パフォーマンス課題】 振り返り・将来へアクセス	<p>◇前時の交流会で得た「メッセージカード」や自ら他のグループの発表を聴いて気づいたこと等から、グループで「まとめ」の修正すべき点について協議、必要に応じて修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕上がった「まとめ」は、発信相手に応じた発信を今後、実際に行っていく。そのための効果的な方法も検討する。 <p>◇福山・沼隈と首都東京との対話学習を通じて、持続可能な社会の発展に参画する意識を持って、今後の自分の生き方について決意表明をする。</p>		○			<p>学んだことを活かし、「今後の自分の生き方」について決意表明しよう。</p> <p>[知識②] (行動観察, ワークシート) (決意表明文)</p>	
<p>今まで対話してきた相手を振り返らせる。仲間、東京、沼隈・福山、先生、出会った人たち…と様々に出させ、「深く考えるときの対話は誰と?」と「自分との対話」に気づかせ、変化の激しい社会にたくましく生きる「自分の将来との対話」として決意表明させる。</p>								

カリキュラムマップとの関連

第1学年

2017年度(平成29年度)

第1学年 全体計画(年間指導計画一覧表)

校番(32)

福山市立千年中学校

育成人の力(21世紀型スキル&倫理観)に関する表。レベル1からレベル3までの学習目標と評価方法を記載している。

★21世紀型スキル&倫理観の育成に係る重点単元等

学力調査等における課題の定着に係る単元等

各教科等ごとの学習計画表。4月から3月までの月別単元と、その学習内容、評価方法を詳細に記載している。

情報収集したことを整理・分析する際に、グラフや相対度数などが活用できる。

「地域の食材を生かした調理」において、福山と東京が比較できる。

★調理と食文化

育成する力(「21世紀型スキル&倫理観」)		つながる知識 知		思考力・判断力・表現力 表		主体性 主		深める力 深		共感力 共			
めざす子ども像 (「21世紀型スキル&倫理観」を身に付けた当該学年の児童・生徒の姿)		レベル1 「既習事項」とつなげて知識を身に付けている。	レベル2 「他教科・領域」と関連づけて知識を身に付けている。	レベル3 身に付けた知識を「地域・社会」と結び付け、さらには、「自分の将来」にいかんにか活用する姿が見られる。	課題を正しく受け止め、考え、判断し、表現できる。	課題に応じて熟考し、根拠明確に判断し、表現できる。	規範意識を持って行動しようとする。	課題解決に向けて、自主的に行動しようとする。	「ちょっと待て」と立ち止まって考えようとする。	他者の意見や考えにより、自分の考えを修正し、自分の考えを表現しようとする。	先人の見識を持って熟考し、新たな価値を創出しようとする。		
<p style="text-align: center;">★「21世紀型スキル&倫理観」の育成に係る重点単元等 学力調査等における課題の定着に係る単元等</p>													
各教科等	各教科等育成する力(「21世紀型スキル&倫理観」)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	時数		
各教科	国語	「社会生活に関わることなどについて立場や考えの利害を踏まえて話し、考えを比べながら関わり、相手の立場を尊重して話し合う力」 「社会生活に関わることなどについて達成を工夫してわかりやすく書く力」 「文章の内容や表現の仕方に注意し、広い範囲から情報を集め効果的に活用する力」	大庄が学ぶへ 「買えないだけ」 「アイスプラネット」 ・熟語の構成	多様な視点から 「メディア」と上手に付き合うための ・暗黙語・対義語・多義語	言葉と向き合い ・「言」	言葉と向き合い ・「言」	言葉と向き合い ・「言」	言葉と向き合い ・「言」	言葉と向き合い ・「言」	言葉と向き合い ・「言」	言葉と向き合い ・「言」	120	
	(書写)												
	社会	「我が国の国土や歴史に関する知識や地域の歴史に関する理解」 「自分の考えを論理的に説明したり、それらをもとに議論したりする力」 「地域社会や世界と自らの関わりを認識し、社会に貢献しようとする態度」 「社会的責任の自覚に基づいて考えようとする態度」	★近世の日本(歴史) ヨーロッパ人との出会いと全国統一 江戸幕府の成立と鎖国 産業の発達と幕府政治の動き	★日本の姿(地理) 日本の位置 日本と世界の時差 日本の環境の特色 都道府県 世界の日本	世界 世界 世界 世界 世界	世界 世界 世界 世界 世界	世界 世界 世界 世界 世界	世界 世界 世界 世界 世界	世界 世界 世界 世界 世界	世界 世界 世界 世界 世界	世界 世界 世界 世界 世界	20	
	数学	「既習の内容を基として、自ら数量や図形などの性質を見出し、総合的・発展的に考察し、関連付けて知識を身に付ける力」 「問題解決において、数学的に考えることよきを楽しむ、多様な考え方を認め、解決過程を互いに振り返り論理的に物事を考察する力」	★式の利用 ・式の計算 ・式の利用	★連立方程式 ・連立方程式 ・連立方程式の利用	★1次関数 ・1次関数 ・方程式と1次関数 ・1次関数の利用	★多角形の性質の調べ方 ・平行線と多角形 ・図形の合同	★三角形と四角形 ・三角形 ・四角形 ・平行線と面積	★確率 ・確率	★確率 ・確率	★確率 ・確率	★確率 ・確率	105	
	理科	「自然科学の中間を見たりして見直しをもって課題や仮説を設定する力」 「日常生活との関連、科学することの面白さや有用性に気づき、自然を敬い、自然現象に進んでいかかわる態度」	★物質の成り立ち ・物質の成り立ち	★物質を表す記号 ・物質を表す記号	★化学変化と物質の質量 ・化学変化と物質の質量	★生命を維持するはたき ・生命を維持するはたき	★感覚と運動のしくみ ・感覚と運動のしくみ	★生物の移り変わりと進化 ・生物の移り変わりと進化	★空気中の水の変化 ・空気中の水の変化	★大気の変化と大気の大気 ・大気の変化と大気の大気	★電流の性質 ・電流の性質	★電流の正体 ・電流の正体	140
	音楽	「音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を豊かにするなどの思い、活動にむけて音楽に取り組む力」 「音楽活動を通して、音楽の楽しさを体験し、音楽の楽しさを味わう力」 「多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する力」	指の流れるのって合奏よ(合唱) パートの役割を解決し、曲理を生かして、表現を工夫しよう(歌唱)	パートの役割を解決し、曲理を生かして、表現を工夫しよう(歌唱)	音楽の特色や背景を理解し、その魅力を味わおう(鑑賞)	★パートの役割や曲理の音楽の動きを理解して合奏しよう(合唱)	日本の伝統音楽の特色を理解し、その魅力を味わおう(鑑賞)	世界の民族音楽の特色を理解し、その魅力を味わおう(鑑賞)	ポピュラー音楽の特色を理解し、その魅力を味わおう(鑑賞)	★仲間とともに、表情豊かに合奏しよう(合唱)			35
	美術	「対象・情景を捉える形や色彩、イメージの造形的な視点について美観的に鑑賞する力」 「感性や創造力を働かせ、形や色、イメージなどの造形的な視点を持ち、造形的な表現と、表現の工夫などについて考えようとする力」 「思いのこめや思いのこめを表現し、表現の工夫などについて考えようとする力」	暮らしや生活の中の美術 季節感のある暮らし	暮らしや生活の中の美術 季節感のある暮らし	暮らしや生活の中の美術 季節感のある暮らし	暮らしや生活の中の美術 季節感のある暮らし	暮らしや生活の中の美術 季節感のある暮らし	暮らしや生活の中の美術 季節感のある暮らし	暮らしや生活の中の美術 季節感のある暮らし	暮らしや生活の中の美術 季節感のある暮らし	暮らしや生活の中の美術 季節感のある暮らし	暮らしや生活の中の美術 季節感のある暮らし	
	保健体育	「運動の楽しさや喜びを味わい、自主的に学習活動に取り組む態度」 「自己の健康に関心を持ち、日々の生活とつなげて考えようとする態度」 「運動実践の場面で健康・安全を確保するために自らのとるべき行動を判断する力」	★体づくり運動(主) 種と競技「短距離走」 陸上競技「走り幅跳び」	★球技「バレーボール」 ★水泳	★水泳	★水泳	★水泳	★水泳	★水泳	★水泳	★水泳	★水泳	
	(保健)		★健康と環境	★健康と環境	★健康と環境	★健康と環境	★健康と環境	★健康と環境	★健康と環境	★健康と環境	★健康と環境	★健康と環境	
	技術・家庭	「ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術を適切に評価し活用する能力と態度」	エネルギーの変換と利用・保守点検	エネルギーの変換と利用・保守点検	エネルギーの変換と利用・保守点検	エネルギーの変換と利用・保守点検	エネルギーの変換と利用・保守点検	エネルギーの変換と利用・保守点検	エネルギーの変換と利用・保守点検	エネルギーの変換と利用・保守点検	エネルギーの変換と利用・保守点検	エネルギーの変換と利用・保守点検	35
外国語	「生活に必要となる実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得し、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度」	衣生活と自立	住生活と自立	住生活と自立	住生活と自立	住生活と自立	住生活と自立	住生活と自立	住生活と自立	住生活と自立	住生活と自立	35	
外国語	「身近なことについてやり取りしたり自分の気持ちや考え、事実を的確に言い分り相手に伝えることができる力」 「自分の考えや気持ちを伝えたい相手に対して必要な情報を把握する力」 「相手の考えや気持ちを正確に伝えようとする態度」	unit 0 unit 1	Daily scene1 unit2 Daily scene2(主)	unit3 Daily scene3(主)	★Presentation 1	Let's Read1 unit4	Daily scene4 unit5	Daily scene5 unit6	Daily scene6 ★Presentation2	Let's Read2 unit7	Daily scene7 ★Presentation3 Let's Read3(主)	140	
総合的な学習の時間	「つながる知識」「他教科・領域」と関連づけて知識を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】課題に応じて熟考し、根拠を明確に判断し表現できる。 【主体性】課題解決に向けて、自主的に行動しようとする。 【共感力】他者の意見等により、自分の考えを見直し、修正したりできる。 【共感力】思いやり・優しさを持って人に接し、相手目標を達成することができる。	学習課題 より良い学校生活、家庭生活の向上	学習対象 千原中の伝統・校歌のリーダー・仲間との協力	学習事項 集団の一員として自覚の育成 自分が目指すべき姿の追求	学習単元 集団の一員として自覚と責任を重んずく リーダーとしての役割・仲間との協力	学習活動 自分自身で課題を解決する 自分自身で課題を解決する	学習活動 自分自身で課題を解決する 自分自身で課題を解決する	学習活動 自分自身で課題を解決する 自分自身で課題を解決する	学習活動 自分自身で課題を解決する 自分自身で課題を解決する	学習活動 自分自身で課題を解決する 自分自身で課題を解決する	学習活動 自分自身で課題を解決する 自分自身で課題を解決する	70	
特別の教科 道徳	A. 自己の思いや気持ちを伝えたい相手に対して必要な情報を把握する力 B. 相手の考えや気持ちを正確に伝えようとする態度 C. 相手の考えや気持ちを正確に伝えようとする態度 D. 相手の考えや気持ちを正確に伝えようとする態度	★不慣れ ・排子と敬子 B(8) ・母かみのつづき C(15)	★小さな心 A(2) 「一筆書き」 「たけちり」 B(9) ・私の朝顔 C(10)	★人算と心算の両方 A(4) ★途端と心算 C(12) ・山は山の山 C(12)	★アキの心算 C(13) ・アキの心算 C(13)	★アキの心算 C(13) ・アキの心算 C(13)	★アキの心算 C(13) ・アキの心算 C(13)	★アキの心算 C(13) ・アキの心算 C(13)	★アキの心算 C(13) ・アキの心算 C(13)	★アキの心算 C(13) ・アキの心算 C(13)	★アキの心算 C(13) ・アキの心算 C(13)	35	
特別 学級活動	「豊かな学年づくりのために、主体的に建設的な意見を述べ合いながら意思決定する力」 「学校の中心としての役割を考え、先輩としての自覚と責任を持って取り組もうとする態度」	★学年活動 ★委員会活動 ★体育祭に向けて	★学年活動 ★委員会活動 ★体育祭に向けて	★学年活動 ★委員会活動 ★体育祭に向けて	★学年活動 ★委員会活動 ★体育祭に向けて	★学年活動 ★委員会活動 ★体育祭に向けて	★学年活動 ★委員会活動 ★体育祭に向けて	★学年活動 ★委員会活動 ★体育祭に向けて	★学年活動 ★委員会活動 ★体育祭に向けて	★学年活動 ★委員会活動 ★体育祭に向けて	★学年活動 ★委員会活動 ★体育祭に向けて	35	
特別 学校行事等	「よりよい活動を目指して、主体的に話し合い、決まったことを実践する力」 「各行事における意義と目的を理解し、とらえながら主体的に行動し、自主的に自分の役割をやり取り、集団をよりよくしようとする態度」 「目的に応じて、積極的に人や地域と関わろうとする態度」	★生徒会活動 ★生徒会オリエンテーション ★入学式	★生徒会活動 ★生徒会オリエンテーション ★入学式	★生徒会活動 ★生徒会オリエンテーション ★入学式	★生徒会活動 ★生徒会オリエンテーション ★入学式	★生徒会活動 ★生徒会オリエンテーション ★入学式	★生徒会活動 ★生徒会オリエンテーション ★入学式	★生徒会活動 ★生徒会オリエンテーション ★入学式	★生徒会活動 ★生徒会オリエンテーション ★入学式	★生徒会活動 ★生徒会オリエンテーション ★入学式	★生徒会活動 ★生徒会オリエンテーション ★入学式	60	
その他(自校の特色等)		毎月17日校区一斉挨拶運動	毎月17日校区一斉挨拶運動	毎月17日校区一斉挨拶運動	毎月17日校区一斉挨拶運動	毎月17日校区一斉挨拶運動	毎月17日校区一斉挨拶運動	毎月17日校区一斉挨拶運動	毎月17日校区一斉挨拶運動	毎月17日校区一斉挨拶運動	毎月17日校区一斉挨拶運動		

「テーマを決めて調査計画を立てる」という学習内容につながる。

情報収集したことを整理・分析する際に、グラフや表などが活用できる。

「持続可能な社会を目指す」という学習内容につながる。

★環境に配慮した消費

育成する力("21世紀型スキル&倫理観")		つながる知識 知		思考力・判断力・表現力 表		主体性 主		深める力 深		共感力 共				
めざす子ども像 ("21世紀型スキル&倫理観を身に付けた当該学年の児童・生徒の姿")		レベル1 「既習事項」とつなげて知識を身に付けている。	レベル2 「他教科・領域」と関連づけて知識を身に付けている。	レベル3 身に付けた知識を「地域・社会」と結び付け、さらに、「自分の将来」へいかに活用すべきか考えている。	課題を正しく受け止め、考え、判断し、表現できる。	課題に応じて熟考し、根拠明確に判断し、表現できる。	規範意識を持って行動しようとする。	「ちよっと待て」と立ち止まって考えることができる。	他者意見を受け止め、協力し合うことができる。	思いやり・優しさを持って人に接し、相手目線で考えることができる。	思いやり・優しさ・助け合いの心を持ち、協働し、高め合うことができる。			
★"21世紀型スキル&倫理観"の育成に係る重点単元等														
学力調査等における課題の定着に係る単元等														
各教科等	各教科等が育成する力("21世紀型"スキル&倫理観")	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	時数			
各教科	国語	社会生活に関わることなどについて相手や場に応じた話し能力、表現の工夫を評して「聞く力、課題の解決に向けて話し合う力、社会生活に関わることなどについて論理的に考え、書く力」を育成する。	「既習事項」とつなげて知識を身に付けている。	「他教科・領域」と関連づけて知識を身に付けている。	身に付けた知識を「地域・社会」と結び付け、さらに、「自分の将来」へいかに活用すべきか考えている。	課題を正しく受け止め、考え、判断し、表現できる。	課題に応じて熟考し、根拠明確に判断し、表現できる。	規範意識を持って行動しようとする。	「ちよっと待て」と立ち止まって考えることができる。	他者意見を受け止め、協力し合うことができる。	思いやり・優しさを持って人に接し、相手目線で考えることができる。	94		
	(書写)	社会生活に関わることなどについて相手や場に応じた話し能力、表現の工夫を評して「聞く力、課題の解決に向けて話し合う力、社会生活に関わることなどについて論理的に考え、書く力」を育成する。	「既習事項」とつなげて知識を身に付けている。	「他教科・領域」と関連づけて知識を身に付けている。	身に付けた知識を「地域・社会」と結び付け、さらに、「自分の将来」へいかに活用すべきか考えている。	課題を正しく受け止め、考え、判断し、表現できる。	課題に応じて熟考し、根拠明確に判断し、表現できる。	規範意識を持って行動しようとする。	「ちよっと待て」と立ち止まって考えることができる。	他者意見を受け止め、協力し合うことができる。	思いやり・優しさを持って人に接し、相手目線で考えることができる。	11		
	社会	我が国の国土と歴史や現代社会の政治、経済、国際関係に関する理解、社会に見られる課題を把握し、解決に向けて複数の立場を踏まえて選択・判断し、行動する力、よりよい社会の実現を視野に社会に関わろうとする態度	二次の世界大戦と日本(歴史)	現代の日本と世界(歴史)	現代社会と私たちの生活(公民)	公民権の尊重と日本国憲法(公民)	現代の民主政治と社会(公民)	私たちの暮らしと経済(公民)	地域社会と私たちの暮らし(公民)	よりよい社会を目指して(公民)	持続可能な社会を実現するための探究レポートの作成、探究を社会参加につなげる	140		
	数学	既習の内容を基にして、自ら数量や図形などの性質を見出し、総合的に考察し、系統性をもって知識を構築する力、問題解決に向けて、数学的に考えることによる実践力、多様な考え方を取り入れ、解決過程を互いに検証し、論理的に物事を捉える力	式の計算	平方根	2次方程式	3平方の定理	3平方の定理	3平方の定理	3平方の定理	3平方の定理	3平方の定理	140		
	理科	自然現象の中に問題を見出し、見通しを持って課題や仮説を設定し、探究の過程における妥当性を検討するなど総合的に振返る力	生物の成長とふえ方	水溶液とイオン	アルカリと塩	力のつり合い	仕事とエネルギー	仕事とエネルギー	仕事とエネルギー	仕事とエネルギー	仕事とエネルギー	140		
	音楽	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって表現できる豊かな心、生活にわたって音楽に親しんでいる態度、多様な音楽の豊かな心や楽しさを味わい、表現の技術を伸ばし、創造的・表現的力	日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう(鑑賞)	パートの役割を理解し、曲を生かして、表現を工夫しよう(演奏)	歌詞や曲想から表現を工夫しよう(作曲)	音楽の特性や音楽を理解しよう(鑑賞)	パートの役割や旋律の音の動きを理解して合奏しよう(合奏)	日本の伝統音楽の特性を理解し、その魅力を味わおう(鑑賞)	世界の諸民族の音楽の特性を理解し、その魅力を味わおう(鑑賞)	ポピュラー音楽の特性を理解し、その魅力を味わおう(鑑賞)	仲間とともに、表現を工夫しよう(合奏)	140		
	美術	感性や造形感覚を伸ばし、材料や用具を生かして、表現方法を工夫し、造形的に表現する力、意図と表現の工夫を工夫し、豊かに発想し、創造的な表現を確かな表現や美術文化について自分の見方や考え方を深め、自分としての表現の意図を明確にする力	点と色の特性を知ろう	手づくりの思い入れ	美術史年表	運動感を育てよう	美の世界を体験しよう	線や立体が動き出す	線や立体が動き出す	線や立体が動き出す	線や立体が動き出す	35		
	保健体育	運動の楽しさや喜びを味わい、主体的に学習活動に取り組む態度、自他の健康に関心をもち、自らの生活に活かそうとする態度、運動実践の場面で健康・安全を確保する力	体つくり運動	球技「バレーボール」	球技「フットボール」	球技「ソフトボール」	球技「バドミントン」	球技「バドミントン」	球技「バドミントン」	球技「バドミントン」	球技「バドミントン」	85		
	(保健)	健康な生活と病気の予防	健康な生活と病気の予防	健康な生活と病気の予防	健康な生活と病気の予防	健康な生活と病気の予防	健康な生活と病気の予防	健康な生活と病気の予防	健康な生活と病気の予防	健康な生活と病気の予防	健康な生活と病気の予防	20		
	技術・家庭	もつくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかわりについて理解を深め、技術を適切に活用する能力と態度	デジタル作品の設計・製作	家族と家族関係	幼児の生活と家族	プログラムによる計測・制御	情報技術の評価・活用	情報技術の評価・活用	情報技術の評価・活用	情報技術の評価・活用	情報技術の評価・活用	18		
外国語	身近な生活や文化について興味・関心をもち、自らの生活に活かそうとする態度、自他の健康に関心をもち、自らの生活に活かそうとする態度、運動実践の場面で健康・安全を確保する力	unit1	Daily scene2	Daily scene3	Let's Read!	Daily scene4	Daily scene5	unit6	Daily scene6	Presentation3	Let's Read2	Let's read3	Let's read4	140
総合的な学習の時間	つながる知識(地域・社会)と結び付け、さらに、「自分の将来」へいかに活用すべきか考えている。	学習課題	学習対象	学習事項	学習活動	学習活動	学習活動	学習活動	学習活動	学習活動	70			
特別の教科 道徳	A: 自己を尊重し、自己の向上を促すこと。B: 目標や約束を履行し、責任をこらえ、誠実に行動する力。C: 互いの個性を尊重し、謙遜に学び、互いに理解し、高め合う心。D: 法や規則の意義を理解し、集団の一員として責任をこらえ、自己を尊重し、自己の向上を促すこと。E: 互いの個性を尊重し、謙遜に学び、互いに理解し、高め合う心。F: 法や規則の意義を理解し、集団の一員として責任をこらえ、自己を尊重し、自己の向上を促すこと。	「おはようございます」(B7)	「おはようございます」(B7)	「おはようございます」(B7)	「おはようございます」(B7)	「おはようございます」(B7)	「おはようございます」(B7)	「おはようございます」(B7)	「おはようございます」(B7)	「おはようございます」(B7)	35			
特別 学級活動	豊かな学級づくりのために、建設的な意見を述べ合いながら集団の中で自分の役割を認め、責任を持って取り組もうとする態度	生徒会活動	生徒会活動	生徒会活動	生徒会活動	生徒会活動	生徒会活動	生徒会活動	生徒会活動	生徒会活動	35			
特別 学校行事等	よりよい活動を目指して、建設的に話し合い、決まったことを実践する力、各行事の意義を理解し、場や目的に応じて自分の役割をこらえ、集団をよぶよびあう態度、目的に応じて、積極的に人々や地域と関わろうとする態度	健康安全・体育的行事	健康安全・体育的行事	健康安全・体育的行事	健康安全・体育的行事	健康安全・体育的行事	健康安全・体育的行事	健康安全・体育的行事	健康安全・体育的行事	健康安全・体育的行事	80			
その他 (自校の特色等)	地域のリーダーとしての自覚を持って、自らを地域の貢献と見なし、小学生から実践される	毎月17日校区一斉挨拶運動	毎月17日校区一斉挨拶運動	毎月17日校区一斉挨拶運動	毎月17日校区一斉挨拶運動	毎月17日校区一斉挨拶運動	毎月17日校区一斉挨拶運動	毎月17日校区一斉挨拶運動	毎月17日校区一斉挨拶運動	毎月17日校区一斉挨拶運動				

「探究を社会参加につなげる」という学習内容につながる。

「身近な自然環境の調査」という学習内容につながる。

「持続可能な社会をつくるために私たちができること」という学習内容につながる。

本時の学習

(1) 本時の目標

首都東京と福山・沼隈の情報を集め、比較し、分類、関連づけて、整理・分析し、良さの発見と課題の見いだしを行う。

整理・分析

情報の収集

(2) 準備物

ワークシート、自主研修計画表、「大好き！福山～ふるさと学習～」(下巻)、東京自主研修ガイド、東京マップ、各グループで準備した資料(図書資料等)、パソコン

(3) 学習展開(6限目/10)

	学 習 活 動	指導上の留意点(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
導入 (5分)	<p>○自分たちのグループが調べた内容と本時で調べようとしている内容の確認をする。</p>	<p>◇自分たちのグループが今まで調べた内容とこれから調べようと思う内容を再度確認させる。</p>	
<p>【ねらい】他のグループの視点を参考にし、自分たちの「仮説」をよりレベルアップさせよう。</p>			
展開 (40分)	<p>【意見交流】</p> <p>○自分たちのグループが調べた内容と他のグループが調べた内容との交流を行う。</p> <p>○他のグループで得た情報や、視点を自分たちのグループで交流する。</p> <p>○现阶段の「仮説」をさらに深めるためにどのような情報を集めるべきか、また、どのような視点を加えたらよいか検討・協議する。 ・場所、過去・現在・未来、別の視点等</p> <p>[情報の収集・整理・分析]</p> <p>①インターネットや資料等から情報を収集する。</p> <p>②集めた情報を整理・分析する。 ・立てた第一次「仮説」の検証を行う。</p>	<p>◇自分たちのグループが今まで調べた内容と、これから調べようと思う内容を他のグループに伝える。他のグループからも同様のことを聞き、本時の探究をレベルアップするためのヒントを得る。</p> <p>◇「問い」に対する答えの「仮説」について、根拠を明確にして相手に納得させられるレベルを目指すことを意識させる。</p> <p>◇「別の視点等から「仮説」を検証してみると、新たな気づき、新たな価値の発見につながる可能性があり、自分たちでクリエイティブ・イノベーション(新たな価値の創造)を成し遂げられるかも知れない。」と促し、意欲を高める。</p> <p>◇東京と沼隈の両方の情報を収集させる。</p> <p>◆グループ内で調べる作業をする者がごく一部にならないように机間指導し、一緒に調べて自分の考えを持てるように促すことや、別の資料で同時に調べることを促す。</p> <p>◇比較、分類、違いの見いだしの思考技法を使わせてグループ内で思考を深めさせ、现阶段の「仮説」の整合性を検討させる。 この際に、グループ内が活発な議論から、各自黙って「うーん」となる瞬間があることが望ましい。 【自分との対話】</p>	<p>〔価値観・倫理観①〕 他者意見等により自分の考えを見直し、修正し、見直しを持って、新たな価値の発見・創造に向かうことができる。 (行動観察、ワークシート)</p>

	<p>[グループ協議]</p> <p>○グループによっては、自主行動計画を新たに立てたり、見直したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「最終仮説」にたどり着いたグループは、修学旅行の自主研修で、現地で調べることを考える。 <p>【意見交流】</p> <p>○全体で各グループの本時の授業前と授業後での変化を伝え合う</p>	<p>◇インターネット、資料等では検証しきれないことや深めて得た「最終仮説」の検証のために、修学旅行2日目の自主研修の行動計画を立てる必要があることを指導する。</p> <p>【実際にどのように実行できるかの対話】</p>	
<p>振り返り (5分)</p>	<p>○グループ協議で今後の見通しについて確認する。</p>	<p>◇「仮説」の検証を繰り返し、深めていったこの活動が「探究的な学習」であり、深い学びにつながってきていることを肯定的評価する。</p> <p>◇修学旅行で実際にどのような場所を訪れ、どのようなものを観て、体験して、調査したらよいか等について検討していくことの必要性を伝える。</p>	
<p>【振り返り】</p> <p>他のグループの情報や視点を聞くことで、別の視点から「情報の収集」することで、新たな気づきや新たな発見をすることができ、「仮説」をレベルアップすることができた。</p>			